平成 17 年 7 月 4 日

千葉市長　鶴岡啓一　殿

東京都中央区日本橋堀留町 1 丁目 10 番 15 号
ＪＦＥ建材株式会社
取締役社長　　谷　　一　浩

千葉市中央区川崎町 1 番地
東日本製鉄所　千葉地区
ＪＦＥスチール株式会社
専務執行役員
東日本製鉄所長　今　村　晴　幸

JFE スチール㈱東日本製鉄所岸壁（０バース）における

管理土の積替え計画の変更(工期延長)について

拝　啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

JFE 建材㈱旧習志野工場の土壌浄化工事において発生する管理土をセメント原料として船舶を用いて搬出するにあたり、JFE スチール株式会社東日本製鉄所岸壁（０バース）において前回報告書(平成 16 年 8 月 6 日付)に基づき、平成 16 年 9 月より管理土（建設発生土）の積替えを行ってまいりました。

浄化工事とともに、浄化土量の詳細調査の結果、処理数量が当初計画の約 1.6 倍に増加することが判明いたしました。平成 16 年 9 月からの０バースへの搬入実績、及び増加数量の場内浄化処理工法等を検討した結果、工期を延長せざるを得ない状況となりましたので、積替え計画の変更(処理数量増加に伴う工期延長)をご報告いたします。

敬　具

計　画　概　要

取扱品目	JFE 建材㈱旧習志野工場の土壌浄化工事に伴い発生する土砂であり、特定有害物質であるふっ素及びほう素が環境基準値を超過した土砂（以下　管理土）
取扱品目詳細	管理土の内訳 ふっ素(F)：約 46,000 m³　0.8mg/L＜F≦24mg/L 約 12,000 m³　24mg/L＜F≦89mg/L　(第二溶出量基準以上) ほう素(B)：約 51,000 m³　1.0mg/L＜B≦30mg/L 約 40,000 m³　1.0mg/L＜B≦30mg/L　（変更増加数量） 約 11,000 m³　30mg/L＜B≦355mg/L　(第二溶出量基準以上) ※　溶出量基準値　F≦0.8mg/L　，　B≦1.0mg/L 第二溶出量基準値　F≦24mg/L　，B≦30mg/L
取扱内容	管理土の積替え
搬出先	太平洋セメント㈱の各セメント工場（北海道、九州、その他） （セメント原料として再利用を行う）
取扱数量	約 120,000 m³　→　約 160,000 m³　（約 40,000 m³ 増加）
一時仮置き量	1,500 m³～2,000 m³
事業期間	平成 16 年８月 1 日以降約 12～13 ヶ月　→　平成 18 年８月 31 日まで延長
概　要	・ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸにて管理土を岸壁まで運搬し、一時仮置、積替えて船舶にてｾﾒﾝﾄ工場へ搬出する。仮置き期間は 1～2 日である。 ・ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ受入台数：60～100 台/日 ・船舶（699t ｸﾗｽ）：2～3 隻/週 ・環境対策、詳細積替え計画等は別紙（積替え計画表参照）
添付資料	・調査結果平面図、数量増加理由、 ・変更工程表、工期算定資料 ・場内浄化工事内訳 ・０バース搬入土量実績表、排水管理記録 ・場内施工状況写真（平成 17 年 5 月末）及び 千葉県、習志野市現場立会い確認状況写真

※積み替え計画詳細は当社ホームページの「習志野工場の土壌汚染対策について」の中の「 旧川鉄建材㈱　習志野工場の土壌浄化工事における管理土の積み替え計画について（ 2004/8/6 ）」を参照ください。